

お祭り騒ぎだ！内浦ならではのお祭り大百科

太鼓編

お祭は多くの人を楽しませ多くの人を気持ちを満たしてくれます。それはお祭自体が楽しいからだけではなく、多くの屋台などがあるから楽しいのです。内浦三津のお祭りは屋台の他に太鼓を行っています。

三津のお祭り！伝統芸能！子供太鼓！

三津地区では、お祭りのイベントの一つとして、子供たちによる内浦太鼓が披露されています。これは毎年行われるイベントであり、内浦三津の伝統でもあります。

内浦太鼓は、地元の小学生の4、5、6年生が披露しています。太鼓の内容としては、一つ目が全学年が行う「二崩し」です。次の太鼓の内容も、二崩し同様全学年行います。それが、「昇殿」です。

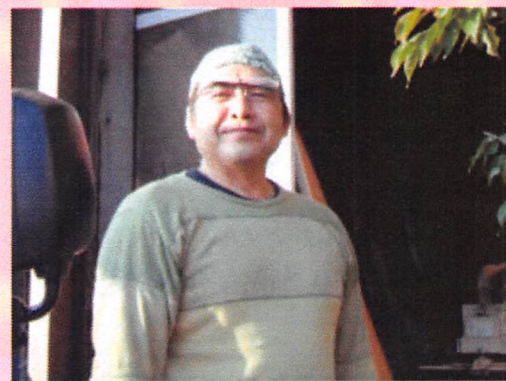
3つ行うのですが、最後の内容だけは、5年生と6年生が行います。それが「玉七」です。

僕たちの行っている太鼓は前の代から行われていますが、昔は子どもがお祭りで披露していたわけではありません。

僕たちは、4年生になってから太鼓を始めます。練習の時に太鼓を4、5、6年生に教えてくれるのが 左の写真の人です。

内浦には、太鼓を行う三津子供会(4、5、6年生)の他にも青年団があります。そして、先生の時に、「昇殿」が内浦で行われるようになりました。これが、内浦の子供会、青年団で昇殿が行われるきっかけになりました。

このように太鼓を経験した人が次世代に継いだり、子供に教えていくことでお祭りで披露できる太鼓が生まれて、それを繰り返す事で内浦の太鼓が伝統として残ります。そして、内浦のお祭りで子供の太鼓が披露できることで、多くの人を楽しませ、多くの人に聞いてもらうお祭りの一環として完成します。



この上の写真の人が今、子供に太鼓を教えている先生です。そして、この人の代で昇殿を内浦の太鼓で、始めました。

それから内浦では、「二崩し」と青年団のみで行われる「三崩し」そして一番の「玉七」の他に、「昇殿」を取り入れて行っています。



これは三津の伝統的な花火です。色とりどりでとてもきれいです。

この内浦のお祭りで、祭り(主体)を陰ながら支えているのが、太鼓なのです。これで内浦のお祭りは、祭り(主体)にそれを盛り上げる太鼓、多くの屋台、イベントでより多くの人にいろいろなこと、色々な思い出を作ってもらえるようにしてしています。。内浦には、人が少ないという課題があります。でもそのおかげで、皆が協力し、多くのことに取り組んでよりいいものを作り上げることができるのです。

文責:いぶき